



専門プログラム ID: 008

2025年度参加者募集

# The Radio Communication

～無線機トレーニング～

災害時の情報伝達は、迅速かつ正確であることが求められます。  
DMTCでは、災害対策本部の運営、救助・救護の研修において、  
無線機を活用して情報伝達を行ってきました。

しかし、「無線機の正しい使用方法が十分に理解されていない」  
という課題が明らかになっています。

本プログラムでは、トランシーバーの基礎的な使い方から、  
効果的な通信のコツまで、実践的にトレーニングします。

- **演習実施日**：【第1回】2025年 5月22日(木) 14:00～17:00
- **演習場所**：東京大学生産技術研究所 As-311・312, 313・314
- **対象者**：行政職員、民間企業のリスク・BCP担当者、住民組織リーダー
- **受講形態**：講義(オンデマンド) + 実技演習 + 試験  
※このプログラムは、eラーニングでの事前学習と当日の研修の2つから構成されます。
- **研修内容**：通信の基礎 + トランシーバーを使った情報伝達
  1. トランシーバーの基本操作
  2. 効果的な通信のコツ
  3. 迅速な情報収集と適切な情報伝達の重要性
  4. 「5W1H」を活用した正確な情報整理と伝達
- **講師**：秋山めぐみ（元横浜市消防局）
- **定員**：20名程度
- **受講料**：11,000円（税込）  
※基礎プログラム(対策論+科学論)修了者は7,500円（税込）
- **持ち物**：筆記用具
- **申し込み方法**：[DMTC-CAMPUS](#)の「専門プログラム受講申込み」から。
- **お問い合わせ**：(一社)DMTC-SA Mail : info[at]dmtc-sa-dms.com

MISSION

↓詳細↓



# Training Overview



- **Level** : Awareness, Performance
- **Target** : DMTCの研修の受講者、共助の担い手となる自主防災組織のリーダー、ボランティア団体、民間企業の危機管理担当者など。
- **Deliver Type** :
  - a. 事前動画視聴（eラーニング）・事前課題の実施 ※DMTC-CAMPUSからアクセスいただけます。
  - b. 実習・試験
- **Duration in Hours** : 事前動画1時間程度、実習2時間、試験1時間弱
- **Training Description** : 災害時のトランシーバー活用は、通信インフラの被害に影響されない即時性、同報通信による情報共有の効率化、混乱回避のための情報整理という点で極めて有効である。効果的な運用には、事前の訓練や使用ルールの徹底が不可欠であり、日頃からの備えが重要である。本トレーニングでは、無線機の種類、無線機（トランシーバー）の使い方、無線通信のお作法、5W1Hを活用して伝えるべき情報に理解する。これにより、災害時の情報伝達を円滑に行える人材を育成する。
- **Training Objectives** :
  - ・ 無線機の種類
  - ・ 無線機（トランシーバー）の使い方
  - ・ 無線通信のお作法
  - ・ 5W1Hを活用して伝えるべき情報
  - ・ 実演
- **Mission Phase** : 早期警報と事前行動、被害評価、応急対応や緊急対応
- **Focus Area** : 「1. 災害対策本部の設置・運営」を中心とする災害情報
- **Primary Core Capability** : 言語化力、表現力
- **Training Certificate** : DMTCの修了証の発行